

六

發

入価・別債行争非者特国札非
行札格第参市及入価・別債発競
発競Ⅱ加場び札格第参市行争
額行争非者特国発競I加場入

五

ハ 口 イ

方 募

入価法入
札格決
発競定
行争の

込募各割各当も各
み限國り申ての申
の度債當込るか込
応額市てみ。らみ
募の場るのその
額範特。応のう
を圃別募応ち
割内參額募応
りに加を額募
当お者案を価
ていご分順格
るてとに次の
。各のよ割高
申応りりい

争市る参てしひ価一を場で競競
入場も加、た価格國定特あ争争
札特の者財後格競債め別つ入入
発別にご務に競争市る参て札札
行参よと大行争入場も加、と發
一加るに臣わ入札特の者財同行
と者発応がれ札發別にご務時一
い・行募各るの行参よと大にと
う第一限國入募一加るに臣行い
。II以度債入と者発応がわう
非下額市札のい・行募各れ。
価一を場で決う第一限國る、
格國定特あ定一I以度債入価
競債め別つを及非下額市札格

七

ニ

ハ

ロ

イ

払

込

金

額

行争非者特国行争非者特国

入価・別債入価・別債

札格第参市札格第参市

発競II加場発競I加場

札非

発競

行争

入

入価

札格

発競

行争

でた条特

四利第別

百付一會

六国項計

十債のに

八に規関

億つ定す

円いにる

て基法

、づ律

額き第

面發四

金行十

額し六

百国条特八国条特二付一百金し第十つ定す億つ定う額

五債の別億債の別千国項三額た四三いにる三いにち面

十に規会四に規会四債の十で利十億て基法千て基、金

五つ定計千つ定計百に規万一付七八はづ律六はづ財額

億いにに七いにに一つ定円兆国条千、き第百、き政で

円て基関百て基関億いに、千債の二額發四万額發法二

、づす万、づす三て基同四に規百面行十円面行第兆

額きる円額きる千はづ法百つ定六金し六、金し四九

面發法面發法五、き第八いに十額た条特額た条百

金行律金行律百額發六十て基万で利第別で利第三

額し第額し第十面行十億はづ円六付一會六付一十

でた四でた四万金し二四、き、千國項計百國項六

千利十九利十円額た條千額發同四債のに四債の億

九付七十付七で利第六面行法百に規關十に規円

口	イ	一	發	振額最	二	ハ	ロ	イ
非者特国札非 価・別債發競 格第參市行爭 競I加場、入	入価發 札格行行 發競価 行爭格日	替 額 面 位	低行爭非者特国行爭非者特国札非入価 入価・別債入価・別債發競札格 札格第參市札格第參市行爭發競 發競II加場發競I加場入行爭					
十額格十額 四面三面 錢金錢金 額以額 百上百 円の円 にそに つれづ きぞき 九れ九 十九の 円募円 九価九	平す額の振 成るの記替 .整載法 十數又の 四倍は規 年の記定 九金錄に 月額はよ 二に、る よ最振 日る低替 も額口 の面座 と金簿	五 万 円 十 七 億 七 千 百 九 十二 二 万 円	四 百 六 十 七 億 七 千 百 九 十 二 百 七 十 万	円千九九二 九十万兆 百八円九 五百億百 十十四 三千四十 億百四 八九億 千萬二 千九百 百八九 百四十 万四十				

十 十 十 十 十 十
九 八 七 六 五 四

払	者	入	払	元	償	償	後	第
込		札	場	利	還	還	の	二
期		参	所	金	金	期	利	期
日		加		支	額	限	子	以

$$+ + \\ - -$$

初利入価・別債行争
期札格第参市及入
利発競Ⅱ加場び札
子率行争非者特国發

年〇八パーセント
平成二十五年三月二十日を支払期とし、次の算式により算出し
た金額を支払う。ただし、支払期が銀行休業日に当たるとき
はは規定する期日及び第十五号に支払う（以
て同じ）。
$$\text{額面金額} \times \frac{0.8}{100} \times \frac{1}{2}$$